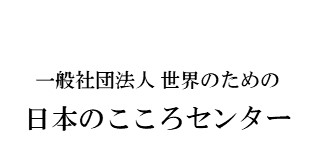


**次世代リーダーのための日本型リベラルアーツ塾**

**自啓共創塾**

**「世界のための日本のこころ」**

**その源流を学び、未来を共創する**



**次世代のリーダーのための日本型リベラルアーツ塾「自啓共創塾」**

**第二期（2022年期）塾生募集について**

募集期間：2022年2月14日（月）～3月31日（木）

**１．ご参加のすすめ**

当塾は昨年５月から１２月までの期間で第一期を実施し、１０代から５０代の約５０名の塾生が参加して共に日本型リベラルアーツを学びました。卒塾生からは、自分の中に確信が得られた、また、普遍的な真理を知ったなどとの高い評価を受けています。今年の第二期でも、第一期同様、全15回にわたり、各テーマに基づき、参加者同士の対話やディスカッションを通じて日本のこころについて、ご自身なりの洞察力を深め、大局観を養っていただく予定です。

この塾で得た気づきを、ぜひ新たな世界・社会づくりに向けて行動していく契機としていただきたいと期待しております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

**今、次世代リーダー養成が喫緊の課題**

地球規模の様々な喫緊の課題を解決するには、人間のあり方を極めた「統合智」が必要であり、そのためにはリベラルアーツ教育がますます重要となっています。専門人材が中心となる縦社会の弊害が顕著な日本では特に、高い視座と幅の広い人間力を備えた所謂「人物」を生み出す学びが求められています。

**次世代リーダーに求められる「日本型リベラルアーツ」**

日本の次世代リーダーに求められるのは世界や社会への新しい価値創造です。ギリシャ哲学に由来する欧米流のリベラルアーツを導入するだけでは、人類社会に日本ならではの新しい価値を創造することができません。世界の知識を吸収するだけでなく、こころの中に自らの歴史を経て形成された精神文化の土台を持つことが肝要なのです。

明治維新から始まった近代化のための学校教育や進学教育よりずっと前から日本の長い歴史の中で蓄積されてきた真の人間力養成の教育システムを再評価、再構築しているのが当塾の「日本型リベラルアーツ」学習です。「日本型リベラルアーツ」は、①全ての学問のベースとして、早くから学ぶべきもの、②リーダーを役割と考え、全ての人が学ぶべきもの、③「日本のこころ」の源流に立ち、世界に価値をもたらすもの、です。

**自啓共創塾の特徴**

　当塾では一方的な講義を行うのではなく、「『世界のための日本のこころ』その源流を探り未来の夢を共創する」というテーマで、参加者が「自調・自考」して肚に落とす機会を提供します。これにより未来への夢と自信を共創していきます。

１．自らがよって立つ根源「日本のこころ」をみつめ直す

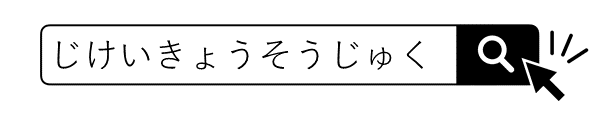
２．反転授業による多様な塾生での「グループダイアログ」で学びを深める

３．各塾生が「自調自考」で学び、今後の自らの行動につなげる

**２．自啓共創塾の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 目的と効果 | 塾生の自調・自考による成長を期するもので、下記の効果を期待しています。  ・日本型リベラルアーツを通じて広い視野と確固たる基軸を確立できる  ・日本人としての真の自信・アイデンティティを確立できる  ・深い人間力と教養が身につく  ・世界に「日本のこころ」を自信を持って説明できるようになる  ・異なる世代間での学びにより、多様な価値観を踏まえた目標・希望の共有につながる |
| 参加対象 | 原則として15歳以上50歳未満の方で、  ・日本のこころを探求し人間力を高めたい方  ・世界や社会の課題に向き合いより良い世の中を創生したい方  ・地域・社会・組織の次世代リーダーをめざしたい、または、育てたい方 |
| 開催期間 | 令和４年５月24日（火）から　令和4年12月20日（火）までの  毎月第2、4火曜日（但し、12月は第1、3火曜日）  19：00～21：00　全15回 |
| プログラム | 次のページ以降に記載しています。  なお、塾生数に応じて、アドバイザーが何名か参加します。 |
| 開催方法 | ZOOMを使いオンライン開催（第15回の発表会、五感塾を除く） |
| 修了要件 | 最終レポートを提出した者に修了証を授与 |
| 塾長及び塾頭 | 塾長　井上淳也（ミライト・ホールディングス社常務執行役員）  塾頭・ファシリテータ  　根本英明（世界のための日本のこころセンター共同代表）  栗原康則（Japan Prideイニシアチブ発起人）  一木典子（オレンジページ社長） |
| 費用 | 法人派遣　１５万円（税別）　個人参加　７万５千円（税別）  ３０歳未満の個人参加の場合　1万円（税別）  ※全１５回以外に実施するリアルイベント「五感塾」の参加費用は含まれておりません。 |
| 募集人員 | 募集人数　５０名  但し、１法人からの参加は基本的に１名までとさせて頂きます。 |
| 申込方法 | サイトからの申請となります。詳しくはこの資料の最終ページをご覧ください。 |
| 申込期限 | 令和4年3月31日（木） |
| 選考 | お申込み多数の場合は選考になります。結果は４月中にお知らせいたします。 |

自啓共創塾のさらに詳しい情報については、当センターのホームページをご覧ください。

****

**３．自啓共創塾第二期　全１５回のプログラム内容・話題提供者一覧（予定）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月日 | テーマ | 話題提供者　※敬称略 | |
|  | 05／10 | オリエンテーション |  | |
| 第１回 | 05／24 | 世界が期待する日本のこころとは | ・川崎一彦（東海大学名誉教）  ・藤田英樹（電経連専務理事） | |
| 第2回 | 06／14 | 日本のこころを育んだ源流に何があるか  ――神・仏・儒の習合、禅・Zen、和漢洋の思想 | ・土居征夫（日本のこころセンター代表）  ・栗原康剛（Japan Pride イニシアチブ） | |
| 第３回 | 06／28 | 地球環境の保全・人類の共生を支える日本のこころ――縄文以来の日本的霊性と神道について | ・加藤春一（縄文道研究所代表）  ・神田　淳（元高知工科大学客員教授） | |
| 第４回 | 07／12 | 政治思想と社会倫理の元にある日本のこころ  ――孔孟思想と陽明学等日本の儒教について | ・難波征男（福岡女学院大学名誉教授）  ・土田健次郎（早稲田大学名誉教授） | |
| 第５回 | 07／26 | 日常の生活習慣がつくり上げる日本のこころ  ――漫画・働き方・礼・女性活躍 | ・Silversnow（漫画家）  ・一木典子（オレンジページ代表取締役） | |
| 第６回 | 08／09 | 真のサムライとは？  ――剣道・弓道・合気道に見る武士道のこころ | ・神田　淳（元高知工科大学客員教授）  ・佐藤征夫（国際剣道連盟前事務総長） | |
| 第７回 | 08／23 | 明治維新の立役者の生きざまを支えたもの  ――西郷隆盛・勝海舟・山岡鉄舟 | ・根本英明（日本のこころセンター代表）  ・平井正修（谷中・全生庵住職） | |
| 第８回 | 09／13 | 聖徳太子の和の精神から世界・人類共生への日本のこころを考える | ・岡野守也（ｻﾝｸﾞﾗﾊ教育・心理研究所）  ・神田　淳（高知工科大学客員教授） | |
| 第９回 | 09／27 | 匠の道・茶道・書道・美術・文学等から日本のこころを探る | ・天明　茂（宮城大学名誉教授）  ・G・ﾘﾝﾃﾞﾙ（ストックホルム大学） | |
| 第10回 | 10／11 | 幕末から今日につながる実学・平等・人権・分権の思想 | ・露木順一（元日本大学教授・元開成町長）  ・土居征夫（日本のこころセンター代表） | |
| 第11回 | 10／25 | 世界に貢献する日本型産業の精神の源  ――公益資本主義、石田梅岩、渋沢栄一等 | ・二枝たかはる（FUTAEDA会長兼社長）  ・渋澤健（ｼﾌﾞｻﾜ･ｱﾝﾄﾞ･ｶﾝﾊﾟﾆｰ代表取締役） | |
| 第12回 | 11／08 | グローバル時代における日本語の大切さ | ・施 光恒（九州大学大学院教授）  ・山口秀範（寺子屋モデル代表） | |
| 第13回 | 11／22 | 世界に求められる日本型リベラルアーツとは | ・荒木　勝（岡山大学名誉教授）  ・田村哲夫（渋谷教育学園理事長） | |
| 第14回 | 12／06 | 人工知能（AI）の時代と人間力 | ・萩原一平（応用脳科学コンソーシアム  理事・事務局長）  ・井上淳也（日本のこころセンター代表） | |
| 第15回 | 12／20 | これからの世界・社会に立ち向かう日本の夢（ビジョン）　　塾生による発表会  ※この回のみ、集合形式とZOOMでのハイブリッド開催を予定しています | |  |

※この他にオプション企画として、現地や現物といった現実に五感で触れる体験を参加者同士が共有することにより「感じる力」や「気づく力」を高められる『五感塾』などのイベントを実施予定です。

**４．アドバイザー一覧 予定**（50音順）

天野定功 元総務省審議官

荒木　勝 岡山大学名誉教授 東京逍遥塾塾長

井上真祈子 ダイアローグ・ラーニング代表理事

小笠原和美 慶應義塾大学総合政策学部教授

加藤春一　縄文道研究所代表理事

川崎一彦 東海大学名誉教授

神田　淳 元高知工科大学客員教授

小林いずみ 元経済同友会副代表幹事

小山邦彦 良知経営研究所代表

近藤誠一 TAKUMI Art du Japon代表理事、元文化庁長官

佐々木伸彦　日本貿易振興機構理事長

佐藤征夫 国際剣道連盟事務総長

渋澤　健 コモンズ投信取締役会長

島岡　恵　元花王

Silversnow 漫画家

施　光恒 九州大学大学院教授

田村哲夫 渋谷教育学園理事長

露木順一 元日本大学教授、元開成町長

天明　茂 宮城大学名誉教授

中谷幸俊 ＩＴバリューアソシエイツ代表取締役

林　明夫 開倫塾代表取締役社長

原　丈人 アライアンス・フォーラム財団会長

二枝たかはる FUTAEDA代表取締役会長兼社長

降籏洋平 日本信号取締役会長

難波征男 福岡女学院大学名誉教授

萩原一平 応用脳科学コンソーシアム理事・事務局長

藤田英樹 電機・電子・情報通信産業経営者連盟専務理事

古田英明 縄文アソシエイツ代表取締役会長

本間正人　京都芸術大学教授　松下政経塾主幹

水田宗子 国際メディア・女性文化研究所理事長

村田恒子 フジクラ取締役　日本政策金融公庫監査役

山口秀範　寺子屋モデル代表取締役

※このほか第一期の卒塾生の一部もアドバイザーやオブザーバー等として第二期の塾生を応援

する予定です

**5．入塾希望のお申込みについて**

**申込方法**

申込は、下記サイトからお申込みください。

**https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSercIww1Qm5teZ4E\_shlV9ySqMvmEzBNnvc3i0A4g7mgrSy3w/viewform?usp=sf\_link**

**募集期間**

2022年2月14日（月）～3月31日（木）

※選考結果については４月中にお知らせいたします。

入塾希望申込書（申請の下書き用）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 年齢 |  |
| ご住所  ※教材送付先の住所をご記載下さい | 〒 |
| 法人名・部門・役職  または学校名・学年 |  |
| 該当箇所にﾁｪｯｸ下さい。  ※2022年4月1日時点の年齢でﾁｪｯｸ下さい | □法人参加（30歳以上） □法人参加（30歳未満）  □個人参加（30歳以上） □個人参加（30歳未満） |
| TEL　※入塾希望者ご本人に直接連絡がとれる番号をご記載下さい |  |
| Email　※入塾希望者ご本人に直接連絡がとれるアドレスをご記載下さい |  |
| ご参加の動機  ※200～600字程度 |  |